

No. 2941

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也
幹 事 中元耕一郎
R広報委員長 脇村 重徳



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和2年6月11日 第2942回

- ・YouTube配信による例会
委員会活動報告
- ・ソング:「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告(第2941回例会)

開催日 令和2年5月28日(木)

点 鐘 (橋本会長)

ニコニコ箱の報告 (中元幹事)

橋本君:久しぶりの例会開催、大変嬉しいです。本日は、橋爪誠治君、次年度の方針よろしくお願い致します。
中元君:本日のYouTube配信の例会、ご視聴よろしくお願い致します。橋爪誠治会長エレクト、次期会長の時間よろしくお願い致します。
上野山(捷)君:久しぶりに出席させて頂きました。よろしくお願い致します。
松村君:皆様、ご無沙汰しております。本日は橋爪誠治会長エレクトのお話、楽しみです。
橋爪(誠)君:本日、会長エレクトの時間をご準備頂いた橋本会長、中元幹事、関係者の皆様、本当にありがとうございます。会員の皆様へ。次年度のメッセージ、初オンラインで発信させて頂きます。
井上君:初めてのYouTube例会、おめでとうございます。この記念すべき日に同席できて光栄です。

出席報告

本日の会員数29名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数27名
(出席規定免除会員8名)

会長の時間 (橋本会長)

皆様、こんにちは。
大変ご無沙汰しておりますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

2019-2020年度クラブ方針

明日に繋がる活動

Activities for a brighter future



次回のお知らせ

令和2年6月25日 第2943回

- ・YouTube配信による例会
最終例会 会長・幹事報告
- ・ソング:「それでこそロータリー」

本日の例会は約3ヶ月ぶりです。初めての試みでYouTube例会を開催することになりました。最後まで宜しくお願い致します。

世界中に感染拡大し、人々の生命や生活を苦しめている新型コロナウイルスですが、緊急事態宣言も解除され、少し安心できる状況になってきました。しかし、どうか気を緩めず、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して頂きたいと思います。

新型コロナウイルスの影響で、従来とは違った生活になりました。

まず、仕事では、全体朝礼は従業員同士の密を避け少人数で分散して行いました。事務所の机と机の間をビニールで覆い、従業員間の飛沫防止対策を行いました。従業員同士が集まる時は、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、室内の換気を義務付けました。毎日の検温、懇親会や接待などの飲食や飲み会も禁止。会議や連絡は可能な限りZoom、Skype、Lineを使ってコミュニケーションを図り、県をまたいだ出張は禁止にしました。

私生活においては、電子決済PayPayに入会し、コンビニなどでの支払いは全てPayPayで行うようになりました。自宅での時間を映画鑑賞に多くの時間を費やすことになり、Amazon Primeに登録し、映画見放題の環境を整えました。趣味の温泉や旅行も全て自粛。しかし、運動も必要なので、山や海岸など人がいないところに出かけ30分程度散歩をしました。

ロータリークラブの活動も、コロナ後も見据えどのような活動が良いのか、今後模索していかなければいけないと思います。



幹事報告 (中元幹事)

- 1、国際ロータリー日本事務局より
2020年5月31日まで在宅勤務の対応策を続ける予定とのこと。
- 2、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より国際ロータリー日本事務局同様、2020年5月31日まで在宅勤務の対応策を続ける予定とのこと。
- 3、一般社団法人ロータリーの友事務所より国際ロータリー日本事務局同様、2020年5月31日まで在宅勤務の対応策を続ける予定とのこと。
- 4、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「世話クラブ補助費」の送金の知らせが届く。(7/29;45,000円)(橋爪誠治エレクト、川口健太郎カウンセラーにメールでお知らせする。)
- 5、有田市役所より、有田川クリーン作戦の中止の知らせが届く。(橋爪誠治エレクトにメールでお知らせする。)
- 6、2019年度版手続要覧の購入の件
幹事の不手際で、2019年度版手続要覧の購入を失念したため、WEB版をダウンロードし印刷製本する。近日中に会員の皆様にお送りする。誠に申し訳ございませんでした。



ルをご紹介させていただきます。

世界中が今、感染症との闘いにいます。ある国ではこの混乱有事を戦争に例えられています。またそのウイルスとの闘いの後の世界の秩序は大きく様変わりしていくとも言われています。私の年度はその変革期に位置しています。

奇しくも、ホルガー・クラーク会長はテーマ講演にて、太陽(コロナ)を引用してデジタル化の推進を強調してこう述べています。(2020年1月20日)ー以下抜粋

「皆さんには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能なかたちで、いかにしてロータリーを成長させることができるかを考えていただきたいと思います。いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか。そして、立ち足かかる課題に立ち向かうため、いかに組織を強くできるか。ポリオ根絶の取り組みによって世界でロータリーへの認識が高まっているこの絶好の機会に、行動を起こさなくてはなりません。『太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならない』のです。

私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

従って、私たちの年度のテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。

次期会長のための時間

2020～2021年度

有田ロータリークラブ クラブ運営方針



会長エレクト
橋爪 誠治 君

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」

本日、会長エレクトの時間を初オンライン例会形式でご準備頂き、誠にありがとうございます。本年度の橋本会長をはじめ関係者皆様に感謝申し上げます。

冒頭に皆様にお伝えさせていただきたいことがございます。新型コロナウイルスの影響を受けていらっしゃる会員の皆様ばかりだと思います。まずは、お体と心の健康を第一に、そしてお仕事を立て直しに頑張ってもらいたいと願っております。

もう一つが、次年度のクラブ運営方針のご紹介につきまして、デジタル化、インターネットの言葉を多く使わせて頂いております。これは新型コロナウイルスの影響を最小限にしたいという観点から、会員皆様と共に乗り越えていきたいという願いでクラブ運営方針を考えました。安全に一年間を通して例会を行う手段として、デジタル化というツ

今のこの状況下においては、クラブ運営を「安全」に継続するためには、良くも悪くもデジタル化の推進に舵をきらざるをえません。急いで慌てず、焦らず急いで、私の考えでは、全会員と共にイメージはゆっくりと確実にデジタル化を進めて行きたいと願っています。

長い歴史のなかで、日本のロータリーの存続の危機があるなか、先人たちは知恵と勇気で乗り越え、今があります。

我々の有田ロータリークラブの運営でも国旗掲揚、ロータリーソングで謳われる「奉仕の理想」の歌詞にある【御国に捧げん】は、太平洋戦争中にクラブ活動を続けるための大義名分を表現する、努力と知恵を絞った先人たちの苦肉の策でもありました。その時代背景のなかでも、平和を祈る活動を続けていたのです。(この時代に我々がよく知る米山梅吉氏がいます。)

平和な時代に私は生まれ、日本の経済大国の恵まれた環境に過ごしてきました。世界の平和を祈る余裕があったからこそ、平和を祈れていたのかもしれませんが。心の余裕があるからロータリークラブに加入できているのかもしれませんが。でも、有事のこの時代に今一度足元を見据え、世界の平和を見つめる勇気と寛容な心が試されているのではないかという気がしてなりません。

そして同時に根本的にクラブの存在意義が問われているのかもしれません。

ウイルスとの闘いでは、この有事を乗り切るための我々の自制心が問われているような気がします。またクラブの運営を継続していくためには、会員の結束力・工夫ある行動力も問われているような気がします。ですので私の次年度のクラブターゲットは、

自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」

にさせて頂きました。

私のクラブ運営の優先順位を整理すると

- 1番・会員の安全
- 2番・会員一人一人の公平感(価値観)
- 3番・会員の絆(親睦)
- 4番・チャレンジ精神
- 5番・テクノロジーの活用(インターネット)

如何なる状況下においても健全なクラブ運営を実現するため、3つの「・・・したい」を紹介します。

感謝の気持ちを伝えたい

会員全員にとって公平なクラブ運営を心がけたい

次世代に結びつけるクラブ運営の意識を高めたい

平和に感謝して、ロータリーの運営に励みたいと素直に思っています。私は有田ロータリークラブで多くを学び・感じ・実践を心がけてきました。ロータリーの醍醐味は「親睦」と「四つのテスト」であります。まず「親睦」は、入会当時の私は、親睦の意味をよく理解できていませんでしたし、何故難しく親睦の意味をとるのだろうと戸惑っていました。でも色々な役職を務める機会をいただき、ロータリー活動を実践すると、当時にアドバイス頂けた言葉が今となっては、凄くいいアドバイスを頂けていたのだと再確認しております。人を想い行動することが、ロータリーの親睦であると感じかされました。

もう一つが、「四つテスト」

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

特に私の年度で力を注ぎたいのが公平という言葉と、親睦に真剣に取り組みたいと考えています。

会員皆様、一人一人に有田ロータリークラブの良さを感じて頂ける工夫を高めたいと思っています。例会は見て楽しむものではありません、例会に参加してこそロータリーの神髄に近づけると考えています。衛生の観点から、今このご時世において参加を重視すると、クラブ運営は非常に困難になりますが、例会の意義を持続するためにもテクノロジーを活用し、例会に参加してもらう工夫が非常に大事になってくると考えています。参加型オンライン例会の構築です。この工夫とアイデアにはチャレンジ精神が必要不可欠で、行動が必要となります。

ぜひ、共に前に進みましょう！

学び多い親睦を目標に、有田ロータリークラブ・チャンネルを構築し身近に感じて頂ける工夫をします。

万有引力の法則を発見し、近代科学の基礎を築くアイザック・ニュートンはイギリスの名門ケンブリッジ大学で熱心に数学を学び、大学を卒業する年に伝染病(ペスト)の流行で約1年半田舎に疎開し、休暇中に集中して学問を究め、「万有引力の法則」や「光の分析(太陽の光は無数の色の光が混ざったり、色によって屈折角度が異なる)」「微分積分法」などの基本的アイデアを思い付いたそうです。我々有田ロータリークラブも今はパワーをためる時です。指を銜えて待っていても次の時代に乗り遅れます。パワーを充電するつもりでデジタル化の波に触れ合ってみましょう。デジタル化の進歩に触れ合えば、新たな発

想が生まれるはずです。この時期にクラブを導けることに、責任と役割を感じ会員皆様と共に進みたいと思っています。

ロータリアンは、混乱時こそリーダーシップを発揮しなければなりませんし、その行動が、未来を手繰り寄せることになると考えています。

子供の頃に暗唱させられた宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を今一度思い出す今日この頃です。(米山梅吉と時代は同じのようです。)

各委員会には、企画を絞り込んでデジタル的要素を織り込んだ歩み(活動)を続けて頂けるようお願い申し上げます、会長エレクトの時間とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

閉会・点鐘

(橋本会長)



YouTube配信による例会

出席会員さんがコメントしてくれています



日程	6月の例会プログラム
6/4(木)	休会
6/11(木)	YouTube配信による例会 委員会活動報告
6/18(木)	中止
6/25(木)	YouTube配信による例会 最終例会 会長・幹事報告